

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立葉山公園・県立はやま三ヶ岡山緑地

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 横須賀土木事務所

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月27日	月例報告及び現地確認等
11月	12月10日	12月28日	月例報告及び現地確認等
12月	1月8日	1月28日	月例報告及び現地確認等
1月	2月10日	3月2日	月例報告及び現地確認等
2月	3月10日	3月30日	月例報告及び現地確認等
3月	4月10日	4月28日	月例報告及び現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

(サービスの向上、施設の維持管理について)

<提案内容の概要>

- ・樹木管理において、下草刈りは1回/年を提案していた。

<実施状況>

- ・日常管理の中で、下草刈りを3～5回/年実施しており、頻繁に行うことで快適な環境な環境の維持に努めた。

<提案内容の概要>

- ・花壇の除草については、3回/年を提案していた。

<実施状況>

- ・除草回数を4回/年と増やすことで、施肥効果も高まり、「ハマナス」や「チュウリップ」の花つきがよく来園者にお褒めの言葉を頂いた。

<提案内容の概要>

- ・トイレの清掃は1～4回/週を提案していた。

<実施状況>

- ・トイレの汚れ具合を見ながら、5～7回/週実施したことにより、来園者より綺麗になったとの評価を受けるようになった

3 収支状況（葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地）

（単位：千円）

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	26,000	14,000	12,000	0	0
上半期計 (a)	13,861	4,397	9,464 (10,167)	0 (0)	1,691
下半期計 (b)	10,645	9,603	1,042 (1,175)	0 (0)	△ 1,401
10月	559		559 (616)		△ 951
11月	1,001	518	483 (559)		△ 593
12月	4,857	4,857			611
1月	1,314	1,314			△ 326
2月	1,377	1,377			△ 193
3月	1,537	1,537			51
合計 (a+b)	24,506	14,000	10,506 (11,342)	0 (0)	290

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

トイレ清掃や小破修理等外部に委託しても良い作業を、指定管理者自ら行い、経費節減に努めている。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況		

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

4 利用状況（葉山公園）

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	95,676人	140,575人	△31.9%
下半期計 (b)	53,455人	58,615人	△8.8%
10月	12,980人	11,420人	13.7%
11月	8,600人	9,715人	△11.5%
12月	8,010人	8,250人	△2.9%
1月	8,965人	8,400人	6.7%
2月	6,470人	10,260人	△36.9%
3月	8,430人	10,570人	△20.2%
合計 (a+b)	149,131人	199,190人	△25.1%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 来園者の減少は、2月に降雨日が多かったことと、公園内火気禁止（バーベキュー禁止）指導を徹底したことが利用者減少の原因と考えられる。今後は、マリンスポーツ等の健全な公園利用者の利用促進を進めたい。 〕

5 苦情・要望等の状況 （施設受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						
11月						
12月			特になし			
1月						
2月						
3月						

（施設所管課受付分）

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	特になし
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

4 利用状況（はやま三ヶ岡山緑地）

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	5,682人	6,516人	△12.8%
下半期計 (b)	4,046人	4,500人	△10.1%
10月	730人	720人	1.4%
11月	553人	635人	△12.9%
12月	710人	680人	4.4%
1月	610人	775人	△21.3%
2月	700人	895人	△21.8%
3月	743人	795人	△6.5%
合計 (a+b)	9,728人	11,016人	△11.7%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 2月は、特に天候に恵まれなかったため、利用者が減少した。園内の階段の老朽化が進んでおり、危険と判断され開催されなかったイベントも見受けられたため、土木事務所にてH22年度改修工事を行う予定である。しかし、自然観察会は毎回多くの参加者があるが、今後とも広報や他のイベントに力を入れ、公園利用者の利用促進を進めたい。 〕

5 苦情・要望等の状況 （施設受付分）

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						
11月						
12月						
1月						
2月						
3月		1				1

（施設所管課受付分）

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・ 枯損木が転倒の危険性がある	伐採処理をした。
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	指定管理2期目になりますが、清掃管理や植物管理は日常管理の中できめ細かく実施して近隣の住民より花壇やトイレが綺麗になったと評価を受けています。また、自然観察会やバードウォッチング等の開催により、公園管理員の知識も深まり来園者が魅力を感じる維持管理が行われています。なお、迅速な管理業務を行うため公園内に情報の伝達・管理が行えるような施設が必要だと考えます。
施設所管課	<p>葉山公園・はやま三ヶ岡山緑地ともに適切な植物管理、清掃管理が行われ、管理水準を満たしている。施設管理については、はやま三ヶ岡山緑地の階段は老朽化が進んでおり、危険と判断され開催されなかったイベントも見受けられたため、土木事務所にてH22年度改修工事を行う予定である。</p> <p>「チリ地震」が平成21年2月27日に発生した時、葉山公園にて早急に現地待機体制を取っていたと報告を受けている。実際の津波や災害が発生すると公園内も危険であるため、今後はさらに、葉山公園及び園内に急傾斜地や土石流危険渓流を持つはやま三ヶ岡山緑地の特性を踏まえた、個別の災害対策・指針を強化していく必要がある。（公園協会全体で、統一の災害対策指針はあるが、個別公園の指針はない。）</p> <p>葉山公園のバードウォッチングや、はやま三ヶ岡山緑地の自然観察会については新聞やFMヨコハマにも取り上げられており、毎回約20～30名の参加がある。イベントの定番として今後も継続的に行っていかなければならない。</p> <p>特に、葉山公園では夏期にはマリンスポーツ等の利用者が多く見受けられたが、両公園で年間を通して来園者数は減少しており、駐車場料金の値上げが利用者の減少の原因の一つとも考えられるが、今後は原因の解明をし、利用者サービスの向上を図る必要がある。</p>